

## 車椅子バスケットボール講習会 競技の「楽しさ」や「難しさ」が体験できました！

12月8日(木)に、阪根泰子さん(アテネパラリンピック車椅子バスケットボール日本代表)をお招きし、車椅子バスケットボール講習会を実施しました。感染予防対策を徹底し、午前・午後2回に分けて小学部・中学部・高等部計41名が参加しました。

お話の冒頭「早く仲良くなりたいので“やっさん”と呼んでね。」と自己紹介され、一気に児童生徒との距離が縮まりました。その後、車いす生活になった当時のお話や、車椅子バスケットボールを始めたきっかけなどを、映像を使って紹介され、児童生徒は“やっさん”のお話に引き込まれ、真剣に耳を傾けていました。

体験では、競技用車椅子を使って車椅子鬼ごっこやバスケットボールのゲームを行い、シュートが決まるたびに歓声が上がりました。実際に体験することで競技の「楽しさ」や「難しさ」などだけでなく、ルールを少し変えることで誰もがプレーすることができるということも学びました。

阪根さんの「できないとあきらめず、工夫しながらチャレンジし続けることで得た自信をもって生活してほしい。」というお話は、たくさんの児童生徒の心に残りました。

